

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		きらめき守谷夢彩都フェスタ支援事業		担当課
総合計画	政策	活力にあふれるまち		計画期間
	施策	集客資源の創出と充実		種別
	基本事業	特色あるイベントの開催		市民協働
予算科目コード		01-070102-09 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 毎年9月下旬の2日間、守谷駅西口駅前広場を会場として実行委員会により開催するイベントを負担金により支援する。 会場では、市内中学校の吹奏楽演奏、和太鼓、よさこいソーラン踊りなどのステージ、お楽しみ抽選会等の催しのほか、地元特産物や地域産業を支える企業等の出展ブース、ビアステーションなど多彩なイベントを実施する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
地域産業を支える商工業者や市民活動のPRの場として、実行委員会が開催する守谷市商工まつり～きらめき守谷夢彩都フェスタ～を支援することにより、地域の活性化を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
地域資源やイベントを活用して、市内における賑わいを創出する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
今年度は昨年度のような台風接近による影響もなく、2日間とも天候にも恵まれ、来場者数は2日間で48,600人だった。 来年度は、今年度の反省点や課題を整理し、更に来場者が増えるような実施内容を検討することが必要である。	令和元年度 11月 今年度の反省、課題整理
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
実行委員会において、今年度の反省点や課題を整理し、実施方法や実施内容について協議を行う。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☒ 維持 ☐ 削減	

R01年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R02年度の振り返り）	
R01年度の評価（課題）	R02年度の実績（評価、課題への対応）
負担金の交付により、事業支援を行った。	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止した。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
来場者数（人）	87,000.00	54,800.00	70,700.00	28,700.00	48,600.00	0.00	75,000.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止したため。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	地域産業を支える商工業者や市民活動の発表PRの場として開催しているイベントであるため、新型コロナウイルス感染防止に努めながら継続して支援する。						

コストの推移						
項目		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	R04年度見込
事業費	計	2,699	2,699	0	2,699	2,699
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	2,699	0	0	0	0
	一般財源	0	2,699	0	2,699	2,699
正職員人工数（時間数）		396.00	301.00	0.00	0.00	0.00
正職員人件費		1,653	1,235	0	0	0
トータルコスト		4,352	3,934	0	2,699	2,699

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		守谷ハーフマラソン開催補助事業		担当課	生涯学習課
総合計画	政策	活力にあふれるまち		計画期間	昭和59年度～
	施策	集客資源の創出と充実		種別	任意の事務
	基本事業	特色あるイベントの開催		市民協働	補助事業
予算科目コード		01-100501-08 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
マラソンを通じて市民相互の交流と、市の知名度向上を図るため、昭和59年から実施している大会に対する補助事業として開始した。	大会は守谷市体育協会が主催し、市からの補助金の他、参加費及び企業協賛等により実施している。毎年2月上旬に開催しており、ハーフマラソン・5km・3km・2kmの男女年代別の種目を設定し健脚を競い合う。 ハーフマラソンは、日本陸上競技連盟公認コースで茨城陸上競技協会の公認大会となっている。 大会運営の係員は約800名で、体育協会会員や市民ボランティア等の協力を得ている。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市体育協会主催による「守谷ハーフマラソン」開催に対して補助することにより、幅広い年齢層の人々に健康増進をもたらすとともに、全国からの参加者に守谷市をPRする。 また、大会運営に多くのボランティアが参加しており、市民相互の交流を深める機会になっている。	
（参考）基本事業の目指す姿	
地域資源やイベントを活用して、市内における賑わいの創出に努める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
参加者は上限数で推移しているが、企業協賛金を含めた大会運営経費の確保が課題である。	7月 通常開催中止決定、オンラインマラソン開催決定 （体育協会理事会・運営委員会） 関係団体（協賛等）へ大会中止連絡＋オンラインマラソン開催案内
	8月 市内広報紙に掲載 過去の参加者等へ大会開催案内 オンラインマラソン申込期間（8/20～9/30）
	10月 参加賞等事前発送 開催期間（10/17～30） 仮想ゴール（10/17.18）
	11月 抽選賞発送
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、7月の運営委員会及び体育協会理事会で、令和3年2月の守谷ハーフマラソンを中止することを決定。 しかしながらただ中止するのではなく、代替え大会として、全国の誰でも参加できる気軽な運動機会の提供及び、市のブランディングなどを考慮し、「守谷オンラインハーフマラソン」を10月の2週間実施した。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
■増加 □維持 □削減	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今後は、今までのような通常開催は困難なことから、「コロナ禍で開催できる大会」を感染対策も含め検討する必要がある。 参加者等を縮小して実施するなど検討が必要だが、感染対策を含めた全体的なコストは増加すると思われる。

R01年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R02年度の振り返り）	
R01年度の評価（課題）	R02年度の取組（評価、課題への対応）
参加者は上限数で推移しているが、企業協賛金を含めた大会運営経費の確保が課題である。 本年度は、消費税や物価上昇により、参加費の値上げをせざるを得なかったが、質やサービスは、今まで同様の提供をおもてなすことができた結果、多くのランナーからの支持も得られた。	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により通常開催を中止した。 全国のマラソン大会が中止になる中、毎年参加するランナーの皆様のモチベーションを維持する方策を検討し、オンラインハーフマラソンを開催した。 開催期間中の土・日曜日に市民ランナー限定の仮想ゴールを設置し、ゴールテープを切る（優勝）体験の場を提供した。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
参加申込者数のうち完走者数（人）	5, 160. 00	5, 168. 00	4, 727. 00	4, 995. 00	4, 919. 00	1, 028. 00	5, 300. 00
市内参加申込者数のうち完走者数（人）	1, 821. 00	1, 728. 00	1, 669. 00	1, 723. 00	1, 475. 00	238. 00	2, 000. 00
成果の動向（→その理由）							
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	通常開催できなかったことにより参加者が大幅に減少した。 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、現状では通常開催が困難な状況にある。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持 ☒ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を講じた上で、ランナーやボランティアスタッフ、地域の方々の安心・安全が確保できる大会とするため、全国のマラソン大会の動向を調査・研究し、開催方法について検討する。						

コストの推移						
項目		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	R04年度見込
事業費	計	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	3,000	0	0	0	0
	一般財源	0	3,000	3,000	3,000	3,000
正職員人工数（時間数）		2,154.00	2,187.00	562.00	0.00	0.00
正職員人件費		8,993	8,973	2,275	0	0
トータルコスト		11,993	11,973	5,275	3,000	3,000